

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ  
川崎市外国人市民代表者会議  
だい き だい ねん だい かい だい 日にち  
(第9期 第2年 第3回 第1日)  
ぎじろく  
議事録

1 日時 2013(平成25)年10月6日(日)午後2時～5時

2 場所 川崎市国際交流センター

3 出席者

(1) 代表者 21人

呉 群、王 夕心、楊 奕、王 平、孔 敏淑、崔 想、朴 昌浩、サルヴィオ  
ローズマリー、中村 ジュデイス、シャルマ ガジェンダー、ガン リョンイン、  
なかだ しりわん、グエン ゴク バオ リン、セヌー ジョアキム、柳澤 アンナ、  
ころんつい カロル、園田 泉 ベアトリス、生出 オリエッタ、シャヒン  
セルカン、シフケン ブランドン、張 氷青

(2) 事務局

横山 室長、町田 担当課長、八木 担当課長、向井 課長補佐、大田 課長補佐、  
ふえき かりちよう おさない しよくいん たかはし せんもんちようさいいん  
笛木 係長、小山内 職員、高橋 専門調査員

4 傍聴者 19人

5 会議次第(公開)

(1) 開会のあいさつ

(2) 事務局説明

(3) 議事

(4) 事務連絡

(5) 閉会

【全体会】

わんびん いいちんちよう かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ ねんどだい かいだい 日にち  
王平委員長「それでは、川崎市外国人市民代表者会議 2013年度第3回第1日の

会議を開催する。本日は、ダンカンさん、チャートさん、安さん、ケオパサアトさんから欠席の連絡を受けている。続いて、事務局から説明をお願いする。」

(事務局横山室長から事務局職員の交代について説明。)

王平委員長「次に、事務局から今日の日程と配付資料の確認をお願いする。」

(事務局向井課長補佐が配布資料について説明)

王平委員長「続いて、前回会議のまとめを事務局からお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料1に基づいて説明)

王平委員長「では、議事に入る。まず、(1)の全体審議の「情報伝達」について審議したい。最初に、各部会での様子を簡単に話してもらう。まずは、社会生活部会でこれまで審議した内容、また出てきた意見などをガジェンダーさんから話してほしい。」

シャルマ副委員長「社会生活部会では情報伝達についてさまざまな話をしたが、ポイントとしては『どこ』と『どうやって』というのが重要だと思う。」

王平委員長「続いて、福祉教育部会での審議内容などを園田部会長からお願いする。」

園田部会長「福祉教育部会では多くのテーマの中で共通しているということとして情報伝達という問題が指摘されてきた。具体的な改善方法については、これから審議してまとめたいと思っている。」

王平委員長「これまでそれぞれの部会で情報伝達についていろいろな意見が出ていると思う。今日は、全体会で情報を共有したり、意見を交換したりしたい。ただ、本当にさまざまな課題や論点があるので、先ほどの説明にもあったように4つのポイント(What、Who、How、When)を意識して議論を整理しながら進めていきたい。」

仲田委員「私が情報のことで初めに考えているのは、Who=誰のためなのかだ。例えば、保護者とか、仕事の人とか、それぞれ欲しい情報が違ってくると思うので、ターゲットごとにHow=方法を考えなければいけないと思う。」

呉委員「情報の種類と必要性について考えてみたのだが、提言自体が市に対するものだというのもあるが、まずは市が発信している情報、それから学校といった公的などところから考えた方がいいと思う。」

王平委員長「私もまずは市から発信している情報から考えるのがいいのではないかなと思う。それと、学校が発信している情報。その2つで絞って話をしたい」

いと思う。」

柳澤委員「これまでは区役所に外国人向けの窓口があったのだが、今はなくなってしまった。外国人の対応に慣れている職員と慣れていない職員いる。区役所に外国人向けの窓口を設置してもらえれば、情報が必要な人は自分で探しに来るのではないのかなと思う。」

王平委員長「入管法が改正してから窓口が一本化され、外国人にとってはちょっと不便になった部分もある。情報伝達について提言にするとしても幅広いテーマなので、全部を含めることは難しいだろう。例えば、区役所の窓口といった具合に具体的に絞る必要があると思う。両部会から何か意見はあるか。」

シャルマ副委員長「社会生活部会では、情報伝達の議論はWhere = 場所という側面が重要だと考えている。例えば、郵便局やコンビニといったアイデアも出ているのだが、最も有効なのは各区役所だと思う。」

園田部会長「話を聞きながら考えていたのは、私たちはもう日本に住んで数年たっていると思うが、自分が初めて日本に来たときのことを思い出さないといけないと思う。そうした時に、外国人が日本にやってきて最初に行かなければいけないのは入局管理局と区役所だ。そして、日本語教室だろう。だから、区役所と日本語教室が一番の発信元だと思う。」

張委員「やはり場所というのが一番大事だと思う。区役所に行けば、外国人コーナーに行って、そこで自分に必要な情報が得られる。あるいは、知らないことは教えてもらう。そういうところがなくなると、やはり外国人にとっては厳しい。」

園田部会長「やはり外国人は最初に日本に来たときはとても不安だと思うので、外国人に対応できる窓口の案内というのは区役所のほうから一声かけてほしい。または、困ったときはこういうところに行けば助けてくれますよ、といったパンフレットがあればよいと思う。」

ロンツイ委員「社会生活部会で最初のころに話したことなのだが、区役所での窓口がなくなったというのだが、実際にはなくなったというわけではない。外国人専用ではないが、窓口自体は今もある。それと、私が川崎に来たときにいろいろパンフレットなどの情報をももらったのだが、それがとてもよかった。名前がわからないが、ウエルカムセットのようなものだ。川崎市に引っ越してきた人に最初に情報を渡すことはよいことではないかと思う。」

呉委員「ウエルカムセットがあるということだが、少なくとも私はもらっていない。」

残念ながら徹底されていないということだろう。区役所によって対応が違うということは問題なので、対応を統一すべきではないかということを一つの提案として出してもいいのではないか。もう一つ、外国人専用の窓口はなくなったが外国人への対応に慣れた経験者はいるということだが、経験者の異動によってそういった機能がなくなる可能性がある。組織変更は市の事情かもしれないが、外国人への対応の機能を存続させるということは私たちからの提案になると思う。」

王平委員長「皆さんに聞きたいのだが、ウエルカムセットをもらった人は手を挙げてください。（挙手）徹底はしていないようだ。ウエルカムセットを必ず渡すようにということも提言にしてもよいのかなと思う。」

崔委員「ウエルカムセットの中身を見直すことも必要だと思う。それと、紙だと見ないし捨ててしまうという意見もあると思うので、インターネット上でも見られるようにするとよいと思う。」

王平委員長「事務局には次回、各区のウエルカムセットを1部ずつ取り寄せてもらえるようお願いしたい。そろそろ時間になるので、最後に次回も全体会として全員で議論をするかどうか決をとりたい。賛成の人は挙手を。（18人）では、次回も全体会で議論をすることにしたい。」

### 【福祉教育部会】

園田部会長「それでは福祉教育部会を始める。前回のまとめと資料の説明について事務局からお願いする。」

（事務局高橋専門調査員が資料1、3-2について説明）

園田部会長「何か質問はあるか。」

朴委員「特定健康診査の問診票について神奈川県で統一の様式なので独自のものを使うことができないということだが、その理由は何か。」

事務局高橋専門調査員「繰り返しになるが、神奈川県で統一の様式となっているので各自治体が独自の様式を使うことはできないとのことだ。もちろん、川崎市を通じて県に働きかけるといふかたちで改善を要望することはできるかもしれない。」

園田部会長「それでは、提言に向けた準備に入りたい。資料3-3は、これまでに議論をした家庭教育のまとめだ。これが一つの提言になるかと思うのだが、何か意見はあるか。それと、先ほど全体会で議論をした情報伝達、とくに

ウエルカムセットについては提言の候補になるのではないかと思うのだがどうだろうか。」

事務局高橋専門調査員「ウエルカムセットに関しては、手元に実物がないので今は具体的な議論はできないかと思う。それと、ウエルカムセットはもちろん重要だと思うが、これまで福祉教育部会で話し合ってきた学校からの通知や子育てに関する情報提供といった問題はどうか。」

園田部会長「何か意見はあるか。」

崔委員「ウエルカムセットも大事だが、やはりこの部会としては単身世帯ではなく、家庭がある世帯へ向けた情報提供について考えたい。たとえば、子育て、医療、学校などさまざまな問題があると思う。」

園田部会長「それでは、順番に意見を聞くことにしたい。」

王委員長「ウエルカムセットについてはその中身が大切だと思う。それと、ウエルカムセットはとくに外国人向けというわけではないので、ウエルカムセットを外国人向けにアレンジする必要があると思う。」

仲田委員「私は今年から外国人子育て広場のボランティアになった。毎月テーマを決めて情報交換をするようにしているのだが、子ども年齢によって欲しい情報が違うので、情報伝達について考えるならば対象をわけないといけなく思う。」

セヌー委員「保護者が、日本語がわからない場合にどうやって理解できるようにするかということが問題だと思う。説明会や多言語での資料の提供も重要だが、継続的に相談できるような支援の体制づくりも必要だと思う。」

崔委員「学校や幼稚園、保育園でも情報提供ができるとよい。また、ママ友の会などもあるので、そういったものも活用していけたらと思う。」

王平委員長「情報伝達はインターネットも積極的に進めていけたらよいと思う。」

朴委員「身近で相談ができるサポーターのような方がいるとよいと思う。」

シフケン委員「日本語ができないお母さんが安心して子育てできるようにしたい。学校のスケジュールや予防接種など日本語ができないお母さんにも情報が伝わるようにしたい。まずは英語、中国語、韓国語だけでもよいと思う。」

中村委員「私はもう知っていることも多いが、日本にきたばかりの人たちはすごく困っていると思う。それと情報が多すぎると困ってしまう。」

楊委員「私は、外国人の総合相談窓口を設定してそこでいろいろな情報提供ができればよいのではないかと思う。」

グエン委員「私は、ウエルカムセットより1冊の生活ガイドのようなものの方がよいと思う。インターネットも活用した方がよい。必要な人と必要ではない人もいると思う。ただ、初めて川崎に乗った人には必ず声をかけるようにしてほしい。」

生出委員「私はまだ考えがまとまっていない。」

園田部会長「今日はもう時間ないので、次回までに提言のテーマについて考えてきてほしい。家庭教育については提言とすることでよいだろうか。賛成の人は挙手を。(全員挙手)もう1つの提言については、次回また議論することにしたい。」

### 【社会生活部会】

シャルマ副委員長「今日はチャート部会長がいないので、私が代理で審議を進める。まずは事務局から資料の説明をお願いします。」

(事務局向井課長補佐が資料1について説明)

シャルマ副委員長「何か質問や意見はあるか。」

柳澤委員「窓口対応・相談業務と情報伝達は1つにまとめることができるのではないかと思う。あとは就職支援について具体的に考えて提言まで持っていくかどうか決めればよいのではないか。」

コロンツイ委員「まとめることができると思うが、今日の全体会でははっきりまとめていなかったと思う。」

呉委員「次回の全体会で窓口対応も含めて情報伝達というかたちにするというアイデアを提示すればよいと思う。」

シャルマ副委員長「他に何か意見はあるか。」

柳澤委員「ウエルカムセットはいらぬという人もいると思うが、情報があるということだけは必ず一言言ってほしい。」

シャビン委員「就職支援も情報伝達のなかに含めることができないだろうか。」

柳澤委員「それは難しいのではないか。」

呉委員「就職支援はどういうふうに提言するかによって、情報伝達と一緒にしたほうがいいのか、独立をさせたほうがいいのかが変わってくると思う。たとえば、単純にどこに掲示板がある、どこにそういった情報があるといった就職に関する情報の場所を明確にするということであれば、情報伝達の中に盛り込めばいい。ただ、川崎市にもっと働きたい外国人を積極的に採用してほしいとい

うふうにアピールするなら、独立させるべきだと思おう。」

柳澤委員「もっと募集してほしいという方をやってもらいたいが、それは企業がやることで、市に働きかけるものではないと思おう。」

孔委員「ハローワークのような情報を提供するというのであれば、情報提供に含めることができると思おうが、民間企業の就職口の情報を窓口で提供することはできないと思おう。」

シャルマ副委員長「窓口対応の話に戻りたい。」

コロンツイ委員「前から言っているが、窓口対応のなかには英語での書類の発行を入れてほしい。」

シャルマ副委員長「少し整理をしたい。窓口対応を情報伝達のなかにも含めるというのは大丈夫か。そうすると、提言の候補は親の呼び寄せ、情報伝達、就職支援の3つだ。それを2つに絞りたい。何か質問や意見はあるか。」

呉委員「窓口があっても実際にそこにいる人が何もできなければ意味がないので、しっかりと対応できる機能もつけてほしい。」

シャルマ副委員長「残り時間が少ないが何かあるか。」

コロンツイ委員「親の呼び寄せに関しては、これまでたくさん議論してきたので、それを整理すればまとめられるのではないかと思おう。」

シャルマ副委員長「就職支援については何かあるか。」

孔委員「ハローワークで就職を探す欄を見ると、外国人を募集している場合は外国人歓迎と書いてあったりする。それと、毎日ではないが曜日ごとに多言語対応も行っていたりする。」

ガン委員「たしかにそうだが、外国人歓迎というのをキーワードにして検索ができればもっと簡単になる。」

コロンツイ委員「このままだと就職支援はハローワークの話になりそうだが、シャヒンさんはそれでよいのか。」

シャヒン委員「ハローワークは1つの例だと思おう。」

シャルマ副委員長「今日はもう時間になったので、次回また継続して議論することにしたい。」

## 【全体会】

王平委員長「まずは、部会報告を社会生活部会からお願いする。」

シャルマ副委員長「今日は私がチャート部会長の代理で進めた。今回で提言の候補

を3つに絞った。1つ目は、情報伝達についてで、窓口対応も情報伝達に含めることにした。2つ目は、親の呼び寄せ。親の呼び寄せについては、次回までに事務局にこれまでの議論の内容をまとめて整理してもらうことにした。3つ目は、就職支援だ。就職支援についてはまだ具体的な提言のイメージが固まらなかったなので、次の会議でまた話し合うことにした。」

王平委員長「社会生活部会の報告について同じ部会から補足意見はあるか。（なし）他の部会から質問や意見はあるか。（なし）では、次に福祉教育部会から報告をお願いします。」

園田部会長「福祉教育部会では、いろいろとお願いしていたことを調べて資料を準備してもらったのでその説明を聞いた。提言については、家庭教育について提言にすることが決まった。次の会議までに情報伝達についてどういうふうに提言にすることを宿題として考えてきてもらうことにした。」

王平委員長「今の報告について、何か補足意見はあるか。（なし）では、他の部会から質問や意見はあるか。（なし）

次に実行委員会の報告をお願いします。まずはオープン会議について私から報告する。資料5-3に時間割と役割分担がまとめてある。レイアウトは資料5-4のようになった。ポスターについても、前回の意見を反映して修正してもらった。当日の集合時間は、12時となっている。何か質問や意見はあるか。（なし）続いて、ニューズレター編集委員会からお願いします。」

孔委員「記事については前回話し合ったので、今日はそれを確認しただけだ。締め切りについては11月10日ということに決めた。」

王平委員長「何か質問や意見はあるか。（なし）では、次に市民祭り実行委員会からお願いします。」

朴委員「市民祭りは2日、3日、4日で開催されるが、参加は2日と3日のみにしたいと思う。お願いがいくつかある。今のところ3日の午前中は人数が少ないのだが、ステージもあるので短い時間でもよいのでなるべく参加してほしい。各国のお茶ということで、マテ茶、龍井茶などを考えているが、他にもお茶を提供できるという人がいればお願いしたい。あと、乾麺も同様にお願いしたい。」

王平委員長「何か質問や意見はあるか。（なし）ぜひみなさんできる限り参加をお願いします。お茶と乾麺についても協力をお願いします。最後に事務局から事務連絡をお願いします。」

(事務局向井課長補佐から事務連絡)

王平委員長「次回の会議は11月17日でオープン会議になる。場所はここではなくて、中原市民館だ。開始時間は14時ではなくて12時からなので気をつけてください。これで、川崎市外国人市民代表者会議2013年度第3回第1日の会議を閉会する。お疲れさまでした。」